

令和元年度横須賀市感染症対策委員会議事録

1 日 時 令和2年2月5日(水) 19時30分～21時00分

2 場 所 横須賀市保健所第1研修室

3 出席委員等(敬称略)

【出席委員】

遠藤 千洋、山下 隆司、高宮 光、水野 靖大、夏目 一郎、
長嶺 弘太郎、本多 英喜(7名)

【欠席委員】

野口 純男、米持 正伸(2名)

※ 感染症対策委員会条例第4条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができないとされているが、委員9名中6名が出席しているため、委員会は、成立しています。

4 事務局

山岸健康部長、小林保健所長、出石疾病予防担当課長、沼田健康安全科学センター所長、海老沼感染症対策係長、竹内感染症対策係主任、田村

5 傍聴者 1名

6 議事内容

(1) 開会

海老沼感染症対策係長から開会が宣言された。

(2) 健康部長挨拶

山岸健康部長から開会に際し、挨拶があった。

(3) 委員長の互選

委員の互選により、遠藤委員が委員長に選出され、就任の挨拶があった。

(4) 職務代理者の指名

委員長から職務代理者に長嶺委員が指名され、就任の挨拶があった。

(5) 議事

新型コロナウイルス感染症対策について、1)現在の発生状況、2)厚生労働省・国立感染症研究所からの構成通知等について、出石疾病予防担当課長から説明があった後、意見・質疑等はなかった。

3)横須賀市における新型コロナウイルス感染症対策について、出石疾病予防担当課長から説明があった後、以下のとおり、意見・質疑等があった。

(高宮委員)

帰国者・接触者相談センターの開設時間以外は、どうするのか。

(出石係長)

帰国者・接触者相談センターの開設時間は、神奈川県と同じに設定してあります。開設時間以外は、感染症対策係の緊急携帯電話に連絡をお願いします。

(高宮委員)

市民に周知するとすれば、本市の帰国者・接触者相談センター以外の帰国者・接触者相談センターも記載すべきではないか。

帰国者・接触者外来は、二次医療圏で1つか。

(長嶺委員)

帰国者・接触者外来は、なぜ2病院か。

(本多委員)

医療機関が協議すべきことではないか。

(高宮委員)

鎌倉市の帰国者・接触者外来は、どこか。二次医療圏で1つではないのか。

(出石疾病予防担当課長)

帰国者・接触者外来は、横須賀市では2か所、鎌倉市では1か所と聞いている。

(高宮委員)

手厚く、帰国者・接触者外来を設置するということか。

横浜市は、何か所か。

(出石疾病予防担当課長)

情報収集しておりません。

(本多委員)

診療範囲として、横浜市の南部もカバーしているので、近隣の情報があれば、我々は助かる。

(出石疾病予防担当課長)

神奈川県内の状況を把握していきたい。

(遠藤委員長)

三浦市は、どのような状況か。

(出石疾病予防担当課長)

三浦市民は、鎌倉保健福祉事務所の所管です。感染症対策係と鎌倉保健福祉事務所とは、連携を取っています。

(遠藤委員長)

三浦市民は、本市の帰国者・接触者相談センターに電話してもよいのか。

(出石疾病予防担当課長)

帰国者・接触者相談センターは、相互に連携を取りますが、保健所ごとに設置されます。

(遠藤委員長)

新型コロナウイルス感染症の流行地域は、拡大しているのか。

(長嶺委員)

将来的に流行が拡大して行くので、帰国者・接触者外来を複数設置していくのか。市民病院への設置は、無理だ。

(本多委員)

今の状況で、設置が無理な理由は、何か。

(長嶺委員)

マンパワーが不足しているので、帰国者・接触者外来は、設置できない。
感染症指定医療機関の役割は、全うするが、帰国者・接触者外来は、設置できない。

(高宮委員)

横須賀市立市民病院の感染症病床は、6床、帰国者・接触者外来の患者が少ない場合でも対応できないのか

(出石疾病予防担当課長)

新型コロナウイルス感染症の疑い例は、帰国者・接触者相談センターを通して、帰国者・接触者外来へ行ってもらう。

(長嶺委員)

感染症指定医療機関としての受入患者で手一杯、帰国者・接触者外来は、免除してもらいたい。

(出石疾病予防担当課長)

感染症病床6床については、神奈川県と検討していく。

(遠藤委員長)

時間をかければ、帰国者・接触者外来は、設置できるのか。

(長嶺委員)

感染症指定医療機関としての患者は、実際に来てる。帰国者・接触者外来と重なると外来が混乱する。

(夏目委員)

現在のフェーズでは、帰国者・接触者外来の患者は、少ない。現在のフェーズ対応でお願いしたい。

(長嶺委員)

帰国者・接触者相談センターに入電があったら、直ぐに横須賀市立市民病院か。

(高宮委員)

横須賀市救急医療センターでも、休日、夜間は、受け入れている。

(小林保健所長)

新型コロナウイルス感染症疑い例は、一般の医療機関に受診しないで、まず、帰国者・接触者相談センターに相談してもらおう。

(高宮委員)

だったら、24時間対応にしなければならない。

(山岸健康部長)

帰国者・接触者外来は、現在の感染状況での提案です。

(高宮委員)

提案されている帰国者・接触者相談センターの開設時間では、無理がある。

(遠藤委員長)

直ぐに一般の医療機関に受診する人がいる。

(出石疾病予防担当課長)

新型コロナウイルス感染症の流行初期段階の提案です。

(高宮委員)

一般の医療機関に直ぐに受診したら、どうしたらいいのか。
横須賀市立市民病院とよく話し合っ決めてらどうか。

(長嶺委員)

全部、横須賀市立市民病院に受診してしまう。病院の規模から、受け入れはできない。

(夏目委員)

横須賀共済病院は、新型コロナウイルス感染症の疑いがある人が来院したら、電話連絡システムを構築している。帰国者・接触者外来の体制を整えている。

(本多委員)

疑似症定点医療機関は、3病院体制、横須賀市立市民病院が新型コロナウイルス感染症患者で入院で一杯になった時は、他の2病院で診る。

帰国者・接触者相談センターの24時間体制が必要、帰国者・接触者相談センター、帰国者・接触者外来について、詳しく説明したらどうか。

(出石疾病予防担当課長)

資料6-1をご覧ください。提案どおりに帰国者・接触者相談センターを開設したい。新型コロナウイルス感染症の感染が拡大したら、開設時間の延長を検討したい(24時間体制)。本市だけの24時間体制は、難しい。

(遠藤委員長)

事前打ち合わせが十分にできていないのではないかと。

(出石疾病予防担当課長)

1月末に鎌倉保健福祉事務所、同三崎センターと一緒に横須賀市立市民病院に説明に行っている横須賀市立市民病院の事業部長に本委員会の開催に際して、説明をし、了解を得ている。

(遠藤委員長)

横須賀共済病院も同じですか。

(夏目委員)

新型インフルエンザの体制もあるので、理解している。

夜間の外来が課題であると思っている。

国、患者の状況に応じて、相談していきたい。

(長嶺委員)

開業医から市民病院に行けと言われた。保健所は、近くの帰国者・接触者外来へ行けと言うのか。

(出石疾病予防担当課長)

帰国者・接触者外来の受入状況を確認し、受入可能な帰国者・接触者外来へ誘導していく。帰国者・接触者相談センターを周知していきたい。

市民のために、対応していただけないか。

(遠藤委員長)

一般の医療機関は、資料6-1の3のとおり診療してよいのか。

(本多委員)

追跡調査もあるので、保健所から受診するという連絡があった方がやり易い。

(高宮委員)

救急医療センターは、医師は日替わりで市外の医師もいる。

(山岸健康部長)

休日・夜間は、救急医療センターに対応をお願いしたい。

(水野委員)

帰国者・接触者相談センターには、開設時間外に連絡できないのか。

(出石疾病予防担当課長)

帰国者・接触者相談センター開設時間外は、感染症緊急携帯電話に連絡をしてほしい。

(高宮委員)

その感染症緊急携帯電話の番号を救急医療センターに知らせてよいのか。

(出石疾病予防担当課長)

既に知らせてあります。

(本多委員)

消防局の救急から保健所へ、保健所から帰国者・接触者外来への連絡体制は、できないのか。

(出石疾病予防担当課長)

連絡体制を構築していきたい。

(本多委員)

不要不急の救急電話（軽症例）⇒保健所⇒病院の体制を構築してほしい。
救急車の使用方法を本委員会で決めた方がよい。

(出石疾病予防担当課長)

軽症例でも帰国者・接触者相談センターで受けて、対応したい。

(本多委員)

軽症例は、日中に受診してもらうよう誘導してほしい。

(遠藤委員長)

救急医療センターは、別対応としてほしい。

(高宮委員)

新型コロナウイルス感染症のPCR検査の上限は、何件か。

(沼田健康安全科学センター所長)

1日、48件です。

(本多委員)

はくおうに対する横須賀市の対応は、保健所を通してもらえないか。

(出石疾病予防担当課長)

健康チェックは、横浜検疫所、地元の保健所には依頼がない。

(高宮委員)

はくおうは、24室あるから選ばれたのか。

(山岸健康部長)

はくおうの部屋数は、94室と聞いている。

(長嶺委員)

はくおうに関して、神奈川県から市民病院に病床確保の照会があった。

(遠藤委員長)

重症者は、市民病院で受け入れるのか。

(長嶺委員)

市民病院で受け入れる。

(出石疾病予防担当課長)

帰国者・接触者相談センター、帰国者・接触者外来は、横須賀市のホームページで周知している。

(高宮委員)

横須賀市のホームページで周知しているが、帰国者・接触者相談センター、帰国者・接触者外来のページを見るまで、クリック数が多すぎる。

(遠藤委員長)

フェリー（はくおう）を使うことについて、横須賀市に話があったのか。

(長嶺委員)

国マターで連絡は来ない。

(遠藤委員長)

以上で、委員会は終了とします。

(小林保健所長)

初期段階において、市民を守るための体制です。ご協力をお願いします。

以上